

エコツーリズム総合推進事業費

132百万円(130百万円)

自然環境局総務課自然ふれあい推進室

## 1. 事業の概要

エコツーリズム(自然環境や歴史文化を対象とし、それらを学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方)の普及・定着へ向け、「エコツーリズム推進会議(小池大臣議長)」において、5つの推進方策をとりまとめ、事業を進めているところ。

今後は、概念やノウハウが行き渡っていない、人材が育っていない等の課題を克服するため、モデル事業をはじめとする推進方策を着実、かつ効果的に展開して普及・定着を進めるとともに、さらにエコツーリズムの取り組みが適正に展開するよう、各種事業を実施する。

## 2. 事業計画

引き続き推進方策に取り組むとともに、自治体などへの幅広い支援としての全国セミナーの開催を行う。また、エコツーリズムの推進に必要な調査、国立公園における仕組みづくり等を実施する。

## 3. 施策の効果

エコツーリズムの推進により、次の効果を期待できる。

地域資源の持続的利用の促進

地域住民及び旅行者の環境保全意識の向上

多彩なプログラム提供による利用の分散、通年観光化

環境学習・環境教育の機会の提供

新たな雇用の機会の創出

地域活性化、地域経済への貢献

自然公園行政、野生生物行政などへの理解の促進

都市と農山漁村の共生・対流、観光立国、地域再生など、国の重要施策への貢献

持続可能な社会づくりへの貢献

# エコツーリズム総合推進事業費



エコツーリズムとは  
 自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方

エコツーリズムの効果  
 地域資源の持続的利用の促進、 地域住民や旅行者の環境保全意識の向上、 多彩なプログラムによる利用の分散、 通年観光化、 環境学習・環境教育の機会の提供、 新たな雇用の創出、 地域活性化、 地域経済への貢献、 自然公園行政、 野生生物行政などへ理解の促進、 都市と農山漁村の共生・対流、 観光立国など、 国の重要施策への貢献等

旅行者

事業者

地域(主に自治体)

第2ステージ  
 <展開・深化>  
 先進国への  
 キャッチアップ  
 確実な環境配慮  
 の推進  
 国立公園における  
 先導的事業実施

第1ステージ  
 <普及・定着>  
 理念の普及  
 情報の流通  
 底辺の拡大

エコツアー総覧

情報の流通  
 (事業者・利用者)

(エコツーリズム憲章)

理念の普及(主に旅行者)

生態系ごとの適正収容力  
 算定手法調査

動植物等への配慮事項調査

環境配慮への取り組み促進

国立公園内  
 エコツーリズム  
 の仕組み  
 づくり

エコツーリズム推進セミナー

エコツーリズム大賞

(エコツーリズム推進マニュアル)

モデル事業

底辺の拡大